

尿素呼気試験を受けられる方へ

尿素呼気試験とは、胃・十二指腸潰瘍や胃癌の原因となるヘリコバクター・ピロリ菌の存在の有無を調べる検査です。検査薬を飲んだ後の呼気に含まれる成分を調べる検査ですので、痛みはありません。安心して受けてください。検査時間は30分程度です。



1. 検査前のご注意

- 胃に食べ物が残っていると呼気に含まれる成分が正確に測定できない場合がありますので、検査当日の朝食は抜いてください。（水は飲んでも構いません。）
- 検査前日からアルコールは飲まないでください。
- 検査当日は禁煙してください。
- 胃薬（タケキャブ錠・ニザチジン錠・ネキシウムカプセル・ファモチジンD錠・ラベプラゾールNa錠・ランソプラゾールOD錠）、抗生物質を服用している方は、検査2週間前から休薬が必要ですので、必ず看護師にお申し出ください。その他のお薬は飲んでも構いません。

2. 検査手順

- ① 検査薬を飲む前に、専用バッグに呼気を吹き込みます。
（深呼吸せず鼻から息を吸って、5秒息を止めてから拭き込みます。）
- ② 検査薬をつぶしたりせず、空腹時に水100mlとともにかまずに速やかに服用します。
- ③ 体の左側を下にして横になり5分間、次に座って15分間、合計20分間待ちます。
- ④ 検査薬服用20分後に、再度専用バッグに呼気を吹き込みます。
（深呼吸せず鼻から息を吸って、5秒息を止めてから吹き込みます。）

3. その他

- 検査結果は、次回診察時にご説明します。